

1 基本情報					
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要		
潮風公園・台場公園			(指定管理者名) 東京臨海副都心グループ (団体の概要) (株)東京臨海ホールディングスが統括し、東京港埠頭(株)が実績と専門のノウハウを生かした維持管理を行い、(株)東京レポートセンターが近隣ビルと駐車場の管理を行う。		
指定期間					
H 28.4.1～ R 8.3.31 (10年間)					
2 施設名					
東京都立潮風公園 東京都立台場公園					
3 管理運営の概要					
特記すべき事項					
◆安心・安全を創出する適正な維持管理					
・東京2020大会後、手入れが行き届いていなかった樹林地の剪定や、潮風公園バーベキュー広場前ボードデッキの再整備、園路補修工事、台場公園木柵補修工事の実施や、適正な維持管理を行うことで安心・安全な公園環境を創出した。					
・台風や積雪等の気象災害対策や園内で発見したスズメバチの巣の撤去、近隣のコンテナふ頭で発見された特定外来種（ヒアリ）について、来園者に向けた日英2か国語表記の看板の設置やSNSでの注意喚起を行う等、直営により迅速に緊急事態への対処を行った。					
◆「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」への取組					
・東京都都市公園制度制定150周年記念事業の1つ「It's My Park Day!」への取組みとして、月毎のテーマに沿ったイベントを開催した。また、自主事業についても150周年記念事業と連携して実施することで記念事業の機運を高めた。さらに、上野恩賜公園で開催された150周年文化祭に指定管理者として出展し、150周年の機運を盛り上げるとともに、潮風公園・台場公園の魅力等について情報発信を行い、公園の更なる利用活性に努めた。					
・公園めぐりデジタルスタンプラリー事業への協力					
ホームページやSNSでの情報発信や、潮風公園管理事務所での記念バッジ配布対応等、公園めぐりデジタルスタンプラリー事業に協力することで、150周年の機運を盛り上げるとともに利用者サービス向上を図った。					
◆新型コロナウイルス「5類」移行後のイベントの充実					
・自主事業の開催（計7件2,999名参加）					
公園の再開園後、昨年度まで開催できなかった自主事業を実施することができ、公園の利用活性を図ることができた。					
・スポーツ・音楽イベント開催時における主催者との連絡調整・指導及び新規企画の立案・実施					
スポーツや音楽等のイベント開催前には、「レギュレーションブック」を使用して、イベント利用の取扱いについて東京都と共有し、東京都と連携してイベント主催者への利用指導を徹底した。これにより、イベントへの近隣住民や公園利用者からの苦情等は発生しなかった。					
また、公園の更なる魅力向上と利用促進を図るため、新たに将来を担う若者をフォーカスして、学生を主体とした音楽イベントを企画・実施した。これにより、地域協働や連携を行うことができ、臨海副都心エリアの活性化に寄与した。					
◆来園者増に向けての取組み					
・公園ホームページ、SNSによる開花情報、イベント情報の発信					
公園HPやSNSによる季節の草花の開花情報や公園で実施するイベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。					
・QRトランスレーター導入					
台場公園の歴史を紹介するため、QRトランスレーターを導入し、公園の史跡や歴史を多言語の音声でご案内できる環境を整えた。					
・AR技術によるデジタルスタンプラリーの開催					
AR技術を活用した「台場公園史跡巡りデジタルスタンプラリー」を開催し、7箇所のポイントでQRコード読み込み、スマートフォン上でスタンプを獲得し記念品を得られるイベントを開催した。またポイントとなる史跡では、AR技術によりスマートフォン上で史跡解説を閲覧できるシステムを導入した。これにより現地の史跡を楽しみながら、史跡の理解を深めていただくことができ、公園の新たな利用方法を創出することができた。					
◆都民協働による公園の利活用					
・環境美化活動（潮風公園16団体410名 台場公園16団体536名）					
企業、団体の美化活動、CSR活動の場として公園を提供し、美化活動に使用する清掃道具の貸出しやゴミの回収等活動をサポートした。環境美化活動により、快適な公園環境を維持するとともに、企業や団体との連携を図る等、新たな公園の利活用方法を創出することができた。					
4 管理状況（維持管理）					
・当初計画に基づき、施設点検や修繕を着実かつ適切に行った。実施にあたっては当社独自で作成の不具合処理調書を活用して速やかに補修作業を行い施設の適正な維持管理に努めた。R5実績：年間103件の不具合を発見し90件改善。					
・一昨年まで閉鎖区域内で、かつ大会施設があったため手入れが出来なかった樹木を中心に昨年度に続き樹木医が診断を行い、その結果を基に都と協議しながら対象木について手入れを実施した。これにより危険木の倒伏防止につながるとともに、林床の明るさ確保と樹木の健全な育成環境の確保を図った。また、一部のエリアでは高さ抑制を行い、倒伏防止とともに周辺景観との調和を図った。					
5 利用者アンケート結果					
実施方法：					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
潮風公園	4.7	4.8	4.6	4.7	4.6
台場公園	4.7	4.8	4.5	4.6	4.5
6 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
潮風公園	205,394	東京2020大会開催後初めて、芝生広場等を含めた全てのエリアが年間を通じて利用可能となった。前年度は太陽の広場の芝生養生による閉鎖や、しおかぜ橋閉鎖期間があったが、今年度は年間を通じて遠足等の団体での芝生広場利用が多く来園者が増加している。また音楽・スポーツイベントによる利用者も増加している。			
台場公園	81,488	前年度から、年間を通じて開園となり外出自粛の規制も緩和されてきたことから、遠足等の団体利用や外国人観光客等の来園者が前年度から継続して増加している。			
合 計	286,882				

東京臨海副都心グループ 都立潮風公園

様式1-②

本年度、力を入れて取り組んだ5つの取り組み

安心・安全を創出する適正な維持管理

「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」への取組

新型コロナ「5類」移行後のイベント充実

来園者増に向けての取組

都民協働による公園の利活用

1 安心・安全を創出する適正な維持管理

(1) 夏季・冬季樹木剪定の実施

(様式5 樹木剪定)

(様式16 適切な管理の履行-4.13)

(夏季剪定:24本 冬季剪定123本 計147本剪定)

夏季、冬季に剪定を実施し、職員監督の下、剪定により樹高を抑制し、景観に配慮した樹林地を形成する等の工夫により公園の景観及び安全性を確保した。



マツ樹林地選定前



マツ樹林地選定後

(2) バーベキュー広場前ボードデッキ再整備

(様式5 ボードデッキ更新他)

(様式16 適切な管理の履行-2.)

老朽化していたバーベキュー広場前のボードデッキを再整備することで、園内で利用者の多いバーベキュー広場の安全性を確保した。



ボードデッキ再整備

(3) 特定外来種(ヒアリ)への対応

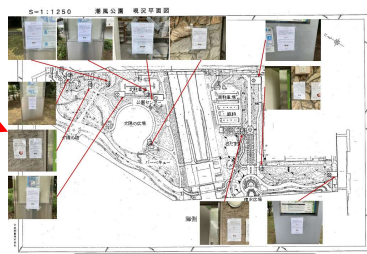
(様式3-③ 7-23)

(様式16 安全性の確保-11.12)

近隣のコンテナふ頭で発見された特定外来種(ヒアリ)への対応として、来園者に向けた日英2か国語表記の看板の設置やSNSでの注意喚起を行った。隣接する海上公園との一体管理のメリットを活かし、局からの指示に先んじて実施し、結果として被害の報告はなかった。



ヒアリ注意喚起



ヒアリ注意喚起
掲示箇所

(4) 直営による迅速な対応

(様式3-③ 7-23)

(様式16 安全性の確保-11.12)

園内で発生した施設の破損や汚損、スズメバチの巣といった利用者に危険を及ぼす事案や気象災害対策等について、常駐している直営作業班により迅速に処理し、利用者の安心・安全を確保した。



ハチの巣撤去



大雨時の側溝清掃

2 「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」への取組

(1)「Its My Park Day!」への取組

(様式3-② 2-17他)

(様式16 事業の取組-19.22.24)

東京都都市公園制度制定150周年記念事業の1つ「Its My Park Day!」への取組みとして、月毎のテーマに沿ったイベントを開催した。

- ・「みんなで公園お手入れ日和」: パークフィットネス
- ・「みんなで公園防災日和」: 防災キャンプ体験教室
- ・「みんなで公園アニバーサリーツリー日和」:
保育園児との植樹活動
- ・みんなでこれまでもこれからも公園日和:
フォトスポットの作成・展示

(2)150周年記念事業と自主事業の連携

自主事業についても150周年記念事業と連携して実施することで記念事業の機運を高めた。

- ・Tokyo Park 150 years パークヨガ(127名)
- ・Tokyo Park 150 years 防災キャンプ体験教室(7名)
- ・Tokyo Park 150 years 凧作り凧揚げ体験教室(100名)

(3)上野恩賜公園開園150周年総合文化祭への出展

(様式3-② 29-20) (様式16 行政目的の達成-30)

上野恩賜公園で開催された150周年文化祭に指定管理者として出展し、150周年の機運を盛り上げるとともに、潮風公園の魅力等について情報発信を行い、公園の更なる利用活性に努めた。



保育園児との植樹の様子



凧作り凧揚げ体験教室



パークヨガ



上野恩賜公園開園150周年総合文化祭



3 新型コロナ「5類」移行後のイベントの充実

(1)自主事業の開催

(様式3-② 1-17他)

(様式16 事業の取組-19.22.24)

新型コロナ「5類」移行後、制限なく集客が可能となったことから、これを契機とした新規イベントの開催をはじめ、従来より実施している体験教室等、充実した自主事業を展開することができ、公園の魅力発信や賑わい創出に寄与した。

今年度実施した自主事業は下記の通り
(計7件、約3,000名参加)

- ・エクサパーク(潮風フィットネス)(35名)【新規】
- ・東京ベイサイドツーデーマーチ(2,659名)【新規】
- ・釣り&バーベキュー教室(6組20名)
- ・ミニ門松作り教室(51名)
- ・凧作り凧揚げ体験教室(100名)
- ・パークヨガ(127名)
- ・防災キャンプ体験教室(7名)



東京ベイサイドツーデーマーチ



ミニ門松作り教室



エクサパーク



釣り&バーベキュー教室

(2) スポーツ・音楽イベント開催時における主催者との連絡調整・指導及び新規企画の立案・実施

(様式3-② 11-18.21-19他)

(様式16 事業の取組-19.24)

・新型コロナが収束に向かい、イベント事業者によるスポーツや音楽イベントが複数実施されたが、イベント主催者への利用指導を徹底したことにより、イベントへの近隣住民や公園利用者からの苦情等は発生しなかった。

また、イベントによる施設・設備の破損、欠損等については、原状復旧への指導を徹底することで、公園施設・環境を適正に維持することができた。

引き続き東京都と連携し、調整を行っていく。

・公園の更なる魅力向上と利用促進を図るため、新たに将来を担う若者をフォーカスして、学生を主体とした音楽イベントを企画・実施した。

ステージを潮風公園を含む近隣施設4か所に分散して設けることにより、地域協働や連携を行うことができ、臨海副都心エリアの活性化に寄与した。



都民スポレクふれあい大会
オリエンテーリング



国際大使館フレンドリーラン



音楽イベント「Willy」



音楽イベント「ベジライフ」

(3) 東京都主催事業への協力

(様式16 行政目的の達成-30)

・東京都各局が主催するスポーツやレクリエーション、婚活イベント等、多様な公園利用に対して利用調整を行うなど、円滑にイベントが行われるよう努めた。

利用調整によりイベントによる事件、事故等は発生しなかった。

4 来園者増に向けての取組み

(1) 公園HP、SNSによる開花情報、イベント情報の発信

(様式3-② 4-17他) (様式16 事業の取組-20)

・公園HPやX、インスタグラムによる季節の草花の開花情報や公園で実施する各種イベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。令和5年度潮風公園ツイッターインプレッション数は累計67,377カウント(3/31時点)であった。

※インプレッション数とは「投稿や広告が表示された回数」のことを指し、情報発信効果の指標となる。

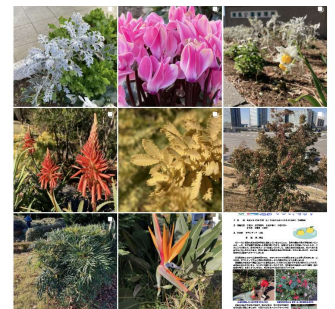
令和4年度の来園者150,939人に対し、令和5年度は来園者が205,394人となり、54,455人(36.1%)増となった。



都主催 婚活イベント



サイクルイベント交通規制



X・インスタグラムによる情報発信

5 都民協働による公園の利活用

(様式3-② 6-17) (様式16 事業の取組-26)

・企業との協働による環境美化ボランティア活動を実施し16社410名にご参加いただいた。海上公園との一体管理のメリットを活かし、お台場海浜公園から新たな活動場所として潮風公園を紹介することで、活動人数の増加につなげた。環境美化活動により、快適な公園環境を維持するとともに、企業との連携を図る等、新たな公園の利活用方法を創出することができた。



環境美化ボランティア活動

東京臨海副都心グループ 都立台場公園

歴史と文化
を活かした
公園管理

都民協働・
自主事業に
よる公園の
利活用

来園者増に
向けての
取組

本年度、力を入れて取り組んだ3つの取り組み

1 歴史と文化を活かした公園管理

(1) AR技術によるDX活用

(様式3-② 3-17他) (様式16 事業の取組-19.22)
・台場公園の更なる利用促進のため、台場公園の見所7か所に、利用者がスマートフォン等でQRコードを読み取り、デジタルスタンプを取得するデジタルスタンプラリーを実施した。スマートフォン等での施設の案内や説明を表示するARの仕組みを提供することで、公園の新たな利用方法を創出することができた。

(2) 景観に配慮した適正な維持管理

(様式5 樹木剪定) (様式16 適切な管理の履行-2.11)
・海上公園との一体管理のメリットを活かし、お台場海浜公園所有の船舶で、海上から台場公園の石垣の状態を確認するなど、史跡の保全、景観への配慮に努めた。

(3) 夏季・冬季剪定の実施

(様式5 樹木剪定) (様式16 適切な管理の履行-4.13)
(様式16 行政目的の達成-32)
・夏季には、台風時期の前に直営による実生木や枯れ枝除去等の作業を実施した。また、冬季には、専門業者によるマツの剪定を実施し、園内の安全性及び景観の確保に努めた。

2 都民協働・自主事業による公園の利活用

(1) 環境美化ボランティア活動(16社536名)

(様式3-② 6-17) (様式16 事業の取組-26)
・企業、団体の美化活動、CSR活動の場として公園を提供。美化活動に使用する清掃道具の貸出しやゴミの回収等活動をサポートすることで、公園の新たな利用促進に努めた。

(2) ゴミ拾いイベントの実施

(6・11月実施 延べ1,065名)(※9月荒天により中止)
(様式3-② 25-19) (様式16 事業の取組-26)
・「東京ベイ・クリーンアップ大作戦」を実施し、隣接するお台場海浜公園とともに清掃活動を実施した。港区や近隣住民等の地域との連携強化や、都民協働による公園の利活用に貢献することができた。

3 来園者増に向けての取組み

(1) 公園HP、SNSによる開花情報の発信

(様式3-② 4-17他) (様式16 事業の取組-20)
・公園HPやX、インスタグラムで季節の草花の開花情報や公園情報など公園の魅力を発信し来園者増に努めた。

(2) 雪吊りの設置

(様式3-② 3-17他) (様式16 事業の取組-16.22)
・台場公園の入口にある仕立ての良い松3本に「雪吊り」を実施し、日本の伝統文化や美しい景観を創出した。

また、雪吊り説明板は日本語・英語で標記し、更に中国語の説明文をQRコードで読取可能とすることで、多言語化に対応した。

ご提案① ARウォークラリー企画について

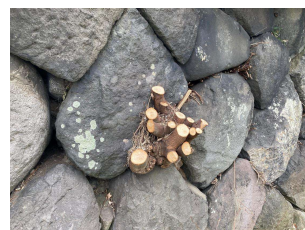
ポータ郎さんが史跡の案内をしてくれるウォークラリー企画
全箇所or数箇所回ってきた方には記念品のプレゼントをする



園内史跡デジタルスタンプラリー



海上からの石垣の様子



石垣実生木処理



マツ剪定の様子



ゴミ拾いイベント



環境美化ボランティア活動



SNSによる
開花情報の発信



雪吊りの設置



雪吊り説明板

収支状況

3 収支（単位：千円）			
	令和5年度	令和4年度	収支に関する説明
項目	金額	金額	
収入 計	95,278	100,576	事業全体で計画額に対し100.4%の執行となった。潮風公園デッキ補修工事、潮風公園園路補修工事、台場公園木柵補修工事等を施設補修修繕費で執行し、委託費では樹木維持管理作業委託や危険木伐採作業委託等を実施した。予算を有効活用し適切な執行を実施して施設の安全・快適性の維持に努めることができた。
内 指定管理料	95,278	100,576	
利用料金	0	0	
支出 計	95,703	99,643	
収支差	△425	933	